



関係者による餅まき



秋の砥部焼まつり会場



ごったがえした砥部焼ファンの皆様



砥部焼記念切手の贈呈

じよじちゃんのお楽しみ日記 54

「秋の砥部焼まつり」の巻

最高の秋晴れに恵まれて十一月四、五日と第十二回秋の砥部焼まつりが砥部町陶街道ゆとり公園で開催されました。

九時のオープン前から大運動場も車々でいっぱいになりました。

思い起こしてみますと平成十七年に砥部町と広田村が平成の大合併で一緒になりました。そんな中で、合併による一体化を促進するため砥部から広田への幹線道路、国道33、379を「砥部・陶街道」とネーミングし、「陶街道の町づくり」を進めてきました。

従来、秋のお祭りとして砥部地区には「文化祭」があり、広田地区には「産業まつり」が賑やかに行われていました。それらを統合して「砥部陶街道文化まつり」とし、「芸術文化フェスタ」「町産品フェスタ」「広田ふるさとフェスタ」に加えて「秋の砥部焼まつり」をスタートさせました。

秋の砥部焼まつりは大南商店街の活性化を含めて砥部伝統産業会館を中心に歩行者天国にし、春の砥部焼まつりとは違ってテントによる窯元さんとの対面販売にしました。多勢のお客様にお越し頂き大成功でした。駐車場の確保に苦労しました。お買い求め頂いた砥部焼を持って駐車場までの移動は大変なものでした。

今年から陶街道ゆとり公園に変更となり、お客様にとっても便利にゆつくりとお買い物を楽しめたのではないのでしょうか。

そして、広田地区の「広田ふるさとフェスタ」も演歌歌手の真木ことみさんの歌謡ショーや仮面ライダービルドショー、景品付き餅まき等々大いに盛り上がりました。

ふる里がいつまでも元気であって欲しいと願っています。



中村剛志